

坂田好弘氏による座談会（平成29年10月15日）



10月15日、世界文化遺産である下鴨神社において、坂田好弘氏などによる座談会及びタグラグビー・タッチラグビーの交流試合等が開催されました。

座談会では、坂田氏のほか、京都産業大学出身・元日本代表でラグビーワールドカップ2019アンバサダーの大畑大介氏が、鴨沂高校出身でラグビー解説者の村上晃一氏の進行のもと、坂田氏が高校の合格発表の日にラグビーと出合ったことや、ラグビーワールドカップの本大会の組合せ抽選会を京都に誘致した際のエピソードなどを話されました。

坂田氏がニュージーランドのチームに在籍した際は、チームメイトからの信頼を得ることでパスが回ってくるようになり、仲間と認められたとの話があり、集まった200人を超える聴衆は、当時の坂田氏の奮闘や活躍を想像しながら聞き入っておられました。

そして、ラグビーワールドカップ日本大会の日本国内での盛り上げやおもてなしについても話され、海外からの訪問者を京都に呼び込んで温かくもてなすことが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの際の更なる入浴に繋がること、また、市民が傍観者にならずにスポーツを盛り上げることが重要であるとの坂田氏の言葉に、参加者の皆さんが熱心に耳を傾けていました。

糺の森・馬場にある「第一蹴の地」碑前では、タグラグビー・タッチラグビーの交流試合が行われ、坂田氏のキックインの後、あいにくの小雨に関わらず子どもから大人までが楽しくボールを持って走る姿が見られました。

また、気軽にラグビーに触れることのできる「下鴨神社ラグビーパーク」も用意され、ラグビーボールの形をしたビーチボールを蹴ったり、練習用の器具にタックルをするなど、参加者の皆さんが思い思いにラグビーを楽しまれました。